

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第10回会議
開催日時	令和2年9月29日（火） 10:00～13:00
開催場所	中央公民館 ホール
出席者	別紙のとおり
議 題	1 基本設計について 2 にぎわいのある空間について
配布資料	資料1 スケジュール、設計コンセプト 資料2 外構平面図 資料3 平面計画、断面計画、3Dイメージ 資料4 にぎわいのある空間
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	1 基本設計について 2 にぎわいのある空間について
1 基本設計について（アトリエブック説明）	
①スケジュール	
<p>次回の検討委員会は、11月25日を予定しており、12月に基本設計の最終確認を行う会議を開催する予定としている。</p>	
②設計コンセプト	
<p>浜小清水地区を中心とした観光ゾーン、現在整備中の農業拠点施設周辺を産業ゾーン、そして、本事業で進めている新庁舎周辺をコミュニティゾーンとして位置づけ、新しい人の流れを作ることを目指す。</p>	
<p>また、2本の川に挟まれているが洪水想定浸水域から外れている安全なエリアで、南北に続く商店街の起点に位置しているため、市街地のにぎわいをもたらす防災拠点型複合庁舎にふさわしいと判断した。</p>	
③フェーズフリー	
<p>災害時のためだけに備えるのではなく、日常的に利用している設備やサービスが災害時にも役に立つというフェーズフリーの考え方を基本設計から取り入れることとしている。</p>	
<p>普段から町民でにぎわい、気軽に訪れることのできる新庁舎が、災害などが発生した際にまず逃げ込む場所となるような施設づくりを進めて行く。</p>	
ーフェーズフリー協会佐藤代表からの説明ー	
<p>フェーズフリーは、普段使っている商品やサービスが災害時にも役に立つという発想で、日常的な価値によって災害を減らすことができる。誰もが利用しやすい施設整備を行うことで、避難してくる町民を受け入れやすい、町民にとっても避難しやすい場所になる。</p>	
※ 様々な危機に対する提案が不足との指摘があったため、災害ごとの対応を検討する。	
④外構計画	
<p>町の北側には海、南側には山があり、中間に位置する計画地は平地が広がるエリアであり、将来的には草原、林の植生を活かした新たな名所づくりを検討する。シンボル公園、まちかど広場、防災広場など、憩いとなる場所の整備を今後進める。</p>	
⑤平面計画、設備計画	
<p>主出入口から入ると自然光が差す吹き抜けのじゃがいもストリートがあり、ここで執務ゾーン、にぎわいゾーンを区分している。執務ゾーンは、町民の利用の多い町民系の窓口と出納室は入り口付近として、相談しやすい環境を整えるため、着席できるローカウンターや相談室、打ち合わせコーナーを各所に配置する。</p>	

にぎわいゾーンは、専用の出入り口を設ける計画としており、ランドリーやカフェは利用しやすいように近くに配置している。サークル室（診察室）、スタジオ、検査室は、町の各種検診が行える保健センター機能を兼ねており、レントゲンバスの駐車スペースも確保することとしている。

地階は既存のバス待合所の代わりとなる待合ホールと職員が利用するバックヤード、2階は議会諸室や特別職の部屋を配置する計画となっている。

⑥断面計画、内観イメージ

南北に広がる建物の場合、光が入らない場所が増えてしまうため、自然採光を取り入れ、高温時には自然排気するためのハイサイドライト（高い位置にある採光のための窓）を設置する。

2 にぎわいのある空間について（ルネサンス説明）

新庁舎に含まれるにぎわいのある空間は、利用者の居場所となることを目的としたプレイス空間、合わせて、設置者のメッセージを伝えることを目的としたPR空間と位置付けて、町民の日常利用のある居場所空間の創造を目指している。

【質疑応答】

■ 一時避難所として300人の収容を想定しているのであれば、施設全体のトイレの数が足りないのではないか。簡易トイレを置いても特に女性は嫌がるので、あまり利用されない。

→ トイレの数は、利用者数から割り出した基準よりもゆとりのある数を設置している。一時避難所となった場合は不足するのかもしれないが、300人収容することを想定してトイレを設置すると日常的に余剰な設備になってしまうため、外トイレや簡易トイレなども含めて検討する。

■ 1階にはにぎわいのある空間にしかトイレがないため、職員は不便ではないか。執務ゾーンからにぎわいゾーンへの動線も効率が悪く、地階や2階のトイレに階段を上り下りしなければならないのか。

→ 執務ゾーンは町民が立ち入ることはできないエリアとすることで計画しており、ここにトイレがあっても災害時には町民が利用できないため、1階のにぎわいゾーンの1ヶ所で良いと考えた。にぎわいゾーンのトイレを職員が利用することで町民との接点が増えること、執務ゾーンの階段を利用することで2階と地階のトイレが利用でき

<p>ること、また、今後車イスを利用する職員を採用する場合でもエレベーターを利用することで地階の多目的トイレを利用できると庁舎内の検討組織で判断したが、この場での意見を重く受け止め再度検討する。</p>
<p>■ サンドフィットネスを計画しているが、消毒や清掃などの管理が大変ではないのか。</p>
<p>→ 現時点では設置の有無も含めて検討している。</p>
<p>■ ボルダリングの設置が計画されていたが、今回の図面ではクライミングロックになっており、規模が小さくなってしまった。</p>
<p>→ 規模や種類については検討中であるが、子どもが遊ぶためのツールの一つとして、いつでも自由に遊べるような空間にしたいとの考え方にに基づき検討を進める。</p>
<p>■ にぎわいのある空間で子どもが騒いでいる中で執務ができるのか考えて欲しい。</p>
<p>→ じゃがいもストリートと執務ゾーンを壁などで遮断することは考えていないため、防音のための設備は当然だが、騒いで遊べるエリアを決める、遊ぶ時間帯を決めるなどのソフト面での工夫も必要と考えている。</p>
<p>■ カフェ&ランドリーをどのように運営していくのかが見えてこない。</p>
<p>→ 設備や運営組織のことも含めて検討中であるため、中核となる商工会とも協議をしながら進めて行きたい。</p>
<p>■ 壁やパーテーションがどのようなものになるのか設置案を今後は出して欲しい。</p>
<p>→ 今後の会議で示すこととする。</p>
<p>■ 構造的にはいいと思う。ハイサイドライトや階段の設置の仕方、動かせる遊び道具などはいいが、地階にある展示スペースが狭すぎる。また、建物内のブリッジから屋上ひろばに行けるようにした方がよいと思うし、景観がいい場所であるためにぎわいのある空間の延長として屋上ひろばを活用した方がいい。もっと多目的に使うことができ、地域のグループ活動の活性化につながればいいと思う。</p>
<p>→ それぞれの場所がどのように利用されるのかについての検討に至っていないため、必要なスペースやソフトの面についてはこれから検討を進める。</p>
<p>■ 今回の資料で設計コンセプトを示されたが、構想の段階で説明するべきではなかったのか。</p>
<p>→ 設計コンセプトはいろいろな意見やアイデアを聞き、それらを取り入れながら作り上げたいと考えている。</p>
<p>■ 基本設計を進めるうえで今回の平面計画以外に形や階数などを比較する資料がなく、選ぶこともできなかったが、検討委員はその検討には関われないのか。また、駐車場か</p>

<p>らの見たイメージが重要だと思うが、それは示して欲しい。</p>
<p>→ 前回のゾーニング案から今回の平面図までジャンプがあったのは事実である。国道側に建てるため決めたため土地利用の制約があり、検討はしたが平屋にはできなかったため、地形を活かすために地階を設けることとした。外観パースは今後の会議で提示する。</p>
<p>■ 仮設イベントステージは天井が空いているのか。つくりがわからない。</p>
<p>→ ピロティ（2階以上の建物において地上部分が柱を残して外部空間とした建築形式）になっているため壁がない外の空間としており、イベントなどの利用を想定している。</p>
<p>■ 屋上ひろばへのアプローチはどうなっているのか。</p>
<p>→ 現在検討中ではあるが、いつでも上がることができるように外階段にしたいと考えている。冬の雪対策やメンテナンスも含めて検討する。</p>
<p>■ カフェ&ランドリーは自販機を置いて無人とするのか、有人でサービスを行うのか。</p>
<p>無人で水回りを設置しないのであれば、災害時に飲食の提供はできないのではないか。</p>
<p>→ 運営の仕方や必要な設備については協議を行っているところである。</p>
<p>一時的な避難所であってもお湯を沸かす必要があるため、設備とするのか備品で対応ができるのかを検証している。</p>
<p>■ 冬になると吹き抜けから冷気が下りてくるのではないか。</p>
<p>→ ハイサイドライトでは室内の暖かい空気が上昇するため、冷気を抑えることができ、また、それ以外の窓際にはパネルヒーターを設置して冷気を抑える。</p>
<p>■ 資料を事前に送付してもらったが、説明時間が長くて議論の時間が短いため、以前のようなワークショップ形式で開催できないか。</p>
<p>→ 皆さんの意見を聞きやすい方法を検討する。</p>
<p>■ 公民館を来年度解体するが、選挙の投票所はどのように考えているのか。</p>
<p>→ 公民館に代わる場所や投票所の数など、選挙管理委員会で検討している。</p>
<p>■ 役場前公園のネーミングを公募してはどうか。</p>
<p>→ 町民皆さんからの意見を取り入れたいと考えている。公募については今後検討する。</p>
<p>■ 特別職の部屋が2階にあるが、賑わいの雰囲気はどのように伝わるのか。</p>
<p>→ 特別職だけではなく、職員も町民のニーズを把握する必要があるため検討する。</p>
<p>■ ロードヒーティングのような温泉熱の活用も検討してはどうか。</p>
<p>→ ロードヒーティングは国の管理であるため共用は難しいが検討していきたい。</p>

【北大公共政策大学院客員教授 石井吉春氏のコメント】

複合施設であるため役場も含めて集客施設になるように、これまでの考えにとらわれず役場の敷居を下げて考えて欲しい。

カフェについては、昨年度の人材育成研修の中で自動販売機を設置して無人で営業することを検討したが、町民のニーズに見合った方法にする必要がある。

持続可能エネルギー（太陽光、温泉熱）の利用についても検討して欲しい。

【フェーズフリー協会代表 佐藤唯行氏のコメント】

非常時にはトイレの数は不足することが想定されるが、全てを新庁舎に求めるのではなく近隣施設や仮設トイレも含めて検討した方がよい。また、食料などについても民間事業者との連携により提供を受けることで、備蓄を減らすなどの方法も考えられる。